

# KYOTO NATIONAL MUSEUM

2020 October to December, col.208

京都国立博物館

だより

二〇二〇年

一〇・一一・一二月号



御即位記念 特別展  
**皇室の名宝**  
 文化財保存修理所  
 開所四十周年記念 特別企画  
**文化財修理の  
 最先端**  
 新春特集展示  
**丑づくし**  
 ―千支を愛でる―

御即位記念 特別展

# 皇室の名宝

10月10日(土)～11月23日(月・祝) [平成知新館]

【展示營 前期】10月10日(土)～11月1日(日)

【後期】11月3日(火・祝)～11月23日(月・祝)



天皇陛下の即位とともに元号が改まり、令和の世を迎えました。新たな世の始まりをこぼき、皇室ゆかりの地である京都において、宮内庁が所蔵する名品を日本の宮廷で培われた文化とともに紹介する展覧会を開催します。

宮内庁三の丸尚蔵館所蔵の名だたる品々を中心に、皇室の名宝の数々が、京都の地でまとまって公開される初めての機会。皇室と縁を結んだ名品の数々をご堪能ください。

(山川 暁)

## ◆皇室に つどい 書画 三の丸尚蔵館の名宝◆

三の丸尚蔵館には、さまざまな形で皇室と縁を結んだ書画の逸品が収蔵されています。その来歴は多様ですが、江戸時代以前から皇室周辺で用いられてきた品、明治時代以降に皇室での収蔵を願って献上された品が中核となっており、幾代もの御代を重ねて形成された、重層的な性格をもっています。

### 筆跡のもつ力

書は人なり、とも言われるように、日本では書き文字の美しさが尊ばれます。今も私たちが学ぶ、楷書、行書、草書などの書法を美しく完成させ「書聖」と仰がれたのが王羲之。彼の真筆は伝わりませんが、唐時代に精巧に臨摸された作品が伝えられています。王羲之の書は、かつては正倉院にも所蔵され、三筆や三跡と称される日本の能書家たちの手本となりました。三の丸尚蔵館には、王羲之のみならず、三跡



に数えられる小野道風、藤原佐理、藤原行成の書が揃って所蔵されています。さらには、平重盛、西行、藤原定家といった、歴史上の人物の個性豊かな書も見ることができます。

### 絵と紡ぐ物語

詞と絵が交互にあらわれ、巻物をひもとく先にイメージ豊かに物語が展開していく絵巻。三の丸尚蔵館には、時代を代表する絵巻の名品が所蔵されています。

とりわけ、元寇のありさまを描いて教科書でもおなじみの『蒙古襲来絵詞』、二十巻すべてが欠けることなく伝世し、絵師の名も詞書の筆者も判明する『春日権現験記絵』は、鎌倉時代の歴史や美術を語る逸品として知られています。



春日権現験記絵 巻一 (部分) 高階隆兼筆 宮内庁三の丸尚蔵館 (巻一は 11月3日～23日展示)



蒙古襲来絵詞 後巻 (部分) 宮内庁三の丸尚蔵館 (後巻は 11月3日～23日展示)

### 近世絵画 百花繚乱

狩野永徳、海北友松、俵屋宗達、狩野探幽、尾形光琳、円山応挙、伊藤若冲…。桃山から江戸時代には、個性豊かな絵師が綺羅星のごとく登場しました。三の丸尚蔵館には、彼らの作品が、屏風を中心に多数収蔵されています。

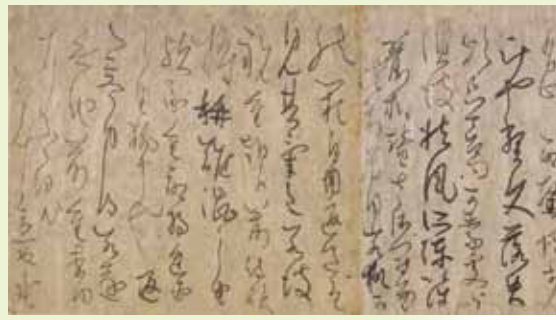
製作当初から宮中や宮家で鑑賞されてきた皇室ゆかりの



左隻 伝狩野永徳筆 宮内庁三の丸尚蔵館 (11月3日～23日展示)

### ○宮内庁三の丸尚蔵館

平成元年(一九八九)、皇室に代々受け継がれた絵画・書・工芸品など六千点余が国に寄贈されたことを機に、平成五年(一九九三)、皇居東御苑内に開館した宮内庁所管の施設。考古遺品から近現代の作品まで、時代や製作地はさまざまながら、縁あって皇室に納められた作品を収蔵しています。その作品群は別格の存在であることから、国宝・重要文化財といった国の文化財指定を受けていませんが、各時代の文化を代表する名品を含むことで知られています。



恩命帖 (部分) 藤原佐理筆 宮内庁三の丸尚蔵館 (11月3日～23日展示)



喪乱帖 王羲之筆 (揚本) 宮内庁三の丸尚蔵館 (10月10日～11月1日展示)

### ◆御所をめぐる色とかたち◆

明治天皇が東京へ遷られると、京都御所は主を失い、伝統儀礼の多くは形を変えて皇居で執り行われるようになりました。本展では、今では見ることの出来ない京都御所での儀式や日々の光景を、さまざまな作品を通して追体験します。

### 即位の風景

令和の即位礼では、皇居正殿の高御座<sup>たかみくら</sup>に登壇される天皇陛下の姿をさまざまなメディアが伝えました。それでは江戸時代、京都御所での即位礼はどのように執り行われていたのでしょうか。

それを教えてくれるのが「靈元天皇即位図屏風」です。紫宸殿内の高御座の中には、金属と玉に飾られた冕冠<sup>べんかん</sup>をかぶり、鮮やかな赤い装束に身を包む天皇の姿が描かれています。その装いには、古代の日本が儀礼や服飾を学んだ中国の影響が強くうかがわれます。近代に大きな変貌を遂げ、現代では見ることの出来ない京都御所での即位の風景を、絵画や装束



皇即位図屏風 (部分) 狩野永納筆 京都国立博物館 (11月3日～23日展示)



### 天皇の姿と風雅

歴史の波に翻弄され、天皇の立

五衣唐衣裳装束のうち  
唐衣・表着 東福門院御料  
京都・靈鑑寺 (通期展示)



ち 松喰鶴時絵螺鈿二階扇子  
京都国立博物館 (通期展示)



### 王朝物語の舞台

平安時代の宮廷で花開いた王朝文学を代表する作品として知られる『源氏物語』において、主人公・光源氏の憧れの女君が暮らす「藤壺」は、御所の後宮の中でも中宮や有力な女御が住まう、飛香舎<sup>ひきよしゃ</sup>の別名です。かつて清涼殿の北西に位置していた飛香舎は、後には立后などの儀式を行う後宮の中心的な殿舎となりました。

本展では、京都御所の飛香舎を飾る襖絵とそこに配されていた調度から、かつての後宮の室礼をしのびます。



扇面散屏風 右隻 (部分) 俵屋宗達筆  
宮内庁三の丸尚蔵館 (11月3日～23日展示)



旭日鳳凰図 伊藤若冲筆 宮内庁三の丸尚蔵館  
(11月3日～23日展示)

品々だけでなく、明治時代以降、かつての公家、門跡寺院、大名家などから、皇室にこそふさわしいとして献上された近世絵画は、まさに百花繚乱のきらびやかさです。



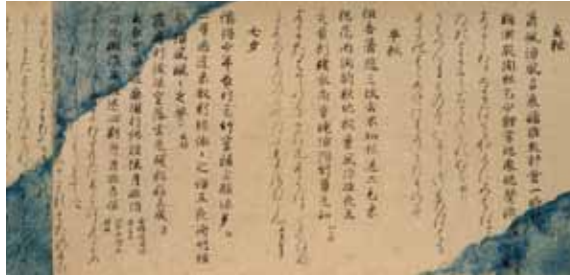
源氏物語図屏風

を通してよみがえらせます。

### 漢に学び和をうみだす

江戸時代までの日本では、時代によってその影響に差はあるものの、中国に代表される漢の文物に学び、そこに自らの風土に根ざした美意識を加え、豊かな和の文化が創造されてきました。漢と和は決して対立するものではなく、同じ場を飾り、ともに鑑賞されるものであったのです。

漢字から万葉仮名へ、そしてかな文字へと深化していく和漢の交わりを、『万葉集』や『和漢朗詠集』などの美麗な古筆の名品を中心にとります。



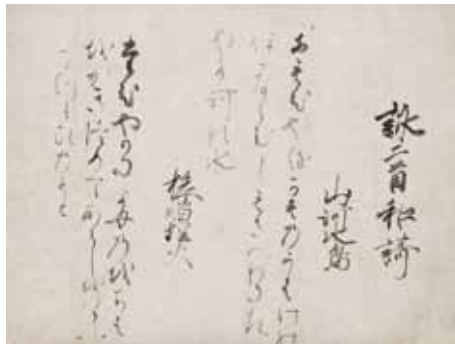
雲紙本和漢朗詠集 巻上（部分）伝藤原行成筆 宮内庁三の丸尚蔵館（この場面は 11月3日～23日展示）



屏風土代（部分）小野道風筆 宮内庁三の丸尚蔵館（11月3日～23日展示）



天子摂関御影 天子巻（部分）藤原為信・豪信筆 宮内庁三の丸尚蔵館（この場面は 10月10日～11月1日展示）



重要文化財 熊野懐紙 後鳥羽天皇宸翰 京都国立博物館（11月3日～23日展示）

場は時々に変化しましたが、「学問」と総称される、典籍の学習、書道や歌道、さらには楽器の演奏に研鑽を積み、風雅の天子として日本文化を牽引しようとする姿勢は、いつの時代も変わることはありませんでした。天皇の肖像、その手になる日記や詠草などの宸翰は、至高の存在として生きる天皇の姿を、現代を生きる私たちにまざまざと伝えてくれます。



飛香舎襖絵 土佐光貞・光時筆 宮内庁京都事務所（この2面は10月10日～11月1日展示）



飛香舎調度のうおよび沈枕 東

## 文化財保存修理所開所四十周年記念 特別企画 文化財修理の最先端

12月19日（土）～令和3年1月31日（日）  
【平成知新館2F、1F-1-3～5】

京都国立博物館の敷地内に併設されている文化財保存修理所は、指定文化財を安全に修理することを目的とし、一九八〇年七月に設置されました。公営修復施設としては日本で初めてのものであり、二〇二〇年には開所四十周年を迎えました。これを記念し、近年修復された文化財のなかでも、

重要文化財 維摩居士像 伝李公麟筆  
京都国立博物館

福岡藩黒田家に伝来した中国絵画で、一文字と風帯に印金を、中柱に金欄を用いた豪華な表装は、大名家ゆかりのものか。中国の表装では風帯などは早くになくなったが、修理にあたり日本で珍重されたかたちを残し、できるかぎり元の裂を再使用した。

当麻寺練供養図 藤吉・藤三筆 および旧軸木・同納入品 京都・西寿寺

解装の際、軸木の中から願文・念仏札など大量

特に注目される作品を厳選して展示いたします。

日本の文化財は大半が脆弱な有機物を素材としており、約一〇〇年に一度は定期的な修理を行わなければなりません。異なる素材を複合させながら発達した日本の修復技術は、古い作品を大切にし、後世へ伝えようとする人々の心と日本の自然が生み出した、人文遺産そのものです。

この特別企画では、世代を超えて受け継がれてきた文化財を、文化財修理という切り口からご紹介いたします。  
(大原嘉豊)

### I 表具の価値—文化財としての表装—

西洋で画家が絵に相応しい額縁を選ぶように、日本では表装に際して絵に相応しい染織品を取り合わせます。通常、この染織品は修理の際に交換されますが、重要な歴史性を持つ場合は保存して再利用します。ここでは、表装に焦点をあてて紹介します。

### II 修理がもたらした奇跡—修復で得られた発見—

文化財の修理では、仏像の胎内や絵の裏など、普段見ることができない部分を確認することができます。その際、制作の秘密を示すような発見が得られることがあります。近年の修理によって得られた、画期的な新知見をご紹介します。

### III 最新の修復成果—ベストな修理を目指して—

文化財の修理は、各作品の特性に応じてもっとも適当と考えられる修理方針が、所蔵者、修理技術者、研究者の協議を経て決定されます。染織分野では、作品ごとにまったく異なる修理方法が採用される場合も少なくありません。近年の修理の中から、特に注目すべき成果をご紹介します。

### IV 彫刻の修理

彫刻の修理は、接合部の緩み等に起因する構造的な問題を解消するため本格的な解体修理と、彩色を主体とした表面層の修理とに大別されます。多くが信仰の対象である彫刻作品は、信仰上の配慮が必要な面もあります。ここでは、書画とは異なる彫刻の修理について紹介します。

### V 修理 いまむかし—過去から未来へ—

書画の修理は伝統的な技術を基本としていますが、文化財修理が専門化するに伴い、その内容は進化を続けています。過去の技術を基本としながらも、科学的観点から見直しが続けられています。近代以前の過去の修理を振り返りながら、現在の修理と比較します。



国宝 十二天像のうち風天 および唐櫃 京都国立博物館



御簾松文様小袖 京都国立博物館



石燈籠図屏風 伊藤若冲筆 右隻 京都国立博物館



国宝 五智如来坐像のうち大日如来 京都・安祥寺

## 平成知新館 名品ギャラリー

の納入品が発見された。これは、袋中(二五五二〜一六三九)が「六二二年の絵の制作当初に納入させたもの。袋中が「瓶原名号」と言われる念仏札を信者に配付したとの史料を裏付ける発見。

3F-1 陶磁

【日本と東洋のやきもの】

12月19日(土)〜令和3年2月28日(日)

\*3月2日〜7日は閉室

3F-2 考古

【九州と近畿の弥生・古墳時代

—弥生土器の成立と埴輪・須恵器—

12月19日(土)〜令和3年2月28日(日)

\*3月2日〜7日は閉室

2F-1〜5

【特別企画 文化財修理の最先端】

12月19日(土)〜令和3年1月31日(日)

1F-1 彫刻

【特別企画 文化財修理の最先端】

12月19日(土)〜令和3年1月31日(日)

【日本の彫刻】

12月19日(土)〜令和3年3月7日(日)

1F-2 特別展示室

【新春特集展示 丑づくし —干支を愛でる—】

12月19日(土)〜令和3年1月31日(日)

1F-3〜5

【特別企画 文化財修理の最先端】

12月19日(土)〜令和3年1月31日(日)

1F-6 漆工

【漆器を守り伝える—修復の成果—】

12月19日(土)〜令和3年1月31日(日)

# 丑づくしー干支を愛でるー

12月19日(土)～令和3年1月31日(日)

【平成知新館 1F-2】

丑(牛)は、日本人にとって幅広い年齢層に人気があるもつとも馴染みの深い動物の一つでしょう。人類とのつき合いは古く、犬をはじめとして一万年近く前から山羊・羊・豚に次いで家畜化されました。日本では古墳時代になり伝来しました。牛耕や運搬などが本格化した平安時代には神の使者や乗り物としても表現され、天満宮に代表されるように神仏とも結びついて、庶民の間にも信仰が広がります。中世以降は、日々の営みに寄り添う農村風景の一部ともなりました。

主な展示品をいくつか紹介しましょう。牛形陶俑は紀元前後・中国漢代の副葬品で、富の所有を象徴しています。五〜六世紀に造られた牛形埴輪(写真1)は、独特な体軀や角がリアルに表現され、日本最初の牛の姿を伝えていきます。また、韓国十二支の丑像(写真2)や板彫十二神将の丑神像は古代・中世の信仰から生まれた造形です。中世の禅僧によって描かれた放牛図の牛は平穏な悟りの世界の象徴といわれ、近世初頭の俵屋宗達水墨画の傑作・牛図は重量感溢れる牛の姿で自由な精神を謳った名品です。一方、牧童吹笛図(写真3)は、人との組合せで悟りに至る過程を表した中国伝来の禅画・十牛図を暗示し、悟りの境地を描いたともみられます。



(写真1) 埴輪 牛 (大阪府今城塚古墳出土)  
古墳時代 6世紀 高槻市立今城塚古代歴史館

数頭の牛を描く二つの屏風図に深遠な哲学的世界を垣間見ることのできるでしょう。

ほかにも、愛らしい描写・造形の作品から野性味にあふれた迫力ある作品まで、バラエティに富んだ作品を展示していますので、さまざまな「牛」たちと新春の一時を過ごして頂ければ幸いです。

(土谷 毅)



(写真3) 牧童吹笛図 長沢芦雪筆 江戸時代 18世紀 京都・久昌院



(写真2) 新羅十二支像護石拓本のうち丑像 (韓国・慶州市 金慶信將軍墓) 統一新羅時代 8~9世紀 京都国立博物館

## 【ミュージアムパートナー一覧】

\*令和2年9月末現在

- 三州ペイント株式会社
- 有限会社竹内美術店/土屋和之
- 株式会社 SCREENZ ホールディングス
- 株式会社 俄 / NISSHA 株式会社
- 彌榮自動車株式会社
- 株式会社 聖護院八ッ橋 橋本店
- 学校法人 二本松学院

## 【キャンパスメンバーズ一覧】

\*令和2年9月末現在

- 学校法人 瓜生山学園
- 国立大学法人 大阪大学
- 大阪大谷大学
- 大谷大学 / 大手前大学
- 学校法人 関西大学
- 学校法人 関西学院 / 京都大学
- 学校法人 京都外国語大学
- 国立大学法人 京都教育大学
- 京都工芸繊維大学
- 学校法人 京都産業大学
- 学校法人 京都女子学園
- 京都市立芸術大学 / 京都精華大学
- 京都橘大学 / 京都府立大学
- 近畿大学 / 嵯峨美術大学
- 国立大学法人 滋賀大学
- 四天王寺大学 / 就実大学
- 成安造形大学 / 帝塚山大学
- 学校法人 同志社 / 奈良大学
- 奈良女子大学
- 奈良先端科学技術大学院大学
- 学校法人 二本松学院 / 花園大学
- 佛教大学 / 学校法人 立命館
- 龍谷大学



## 来館者と博物館の間に―京博ナビゲーター―

京都国立博物館主任研究員  
水谷亜希

水色のストラップの名札に、親しみやすい笑顔。展示に関連した体験が出来るミュージアム・カートやワークショップで、いつも楽しそうに来館者とお話をしている。平成知新館のオープンとともに活動を開始して六年、当館の日常の風景になっていた「京博ナビゲーター」の活動が、まさかこんな形で中止になるとは想像もしていなかった。

二〇二〇年二月二十六日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ボランティアスタッフであるナビゲーターに「ひとまず三月九日までの活動中止」をお知らせした。この時はまだ、事態がそれほど長引くと考えていなかった。再開に備えて次のワークショップの準備などを進めていたが、予想に反して状況は好転せず、活動再開は延期され続けた。

五月二十五日に緊急事態宣言が解除され、このまま収束すればナビゲーターの活動もできるかと期待したが、六月、感染者数は再び増加の一途を辿る。そうした状況を踏まえ、七月六日、ワークショップ中止のお知らせをナビゲーターに送信することになった。

実は特別展「聖地をたずねて―西国三十三所の信仰と至宝―」のワークショップは、第二期ナビゲーターの任期の最後の活動だったのだ。中止のお知らせを送りながら、落胆するナビゲーターの顔を想像し、胸が痛んだ。活動の最大の柱である「さわる・話す」が安心してできるようになるまで、年単位の時間がかかると予想した上での苦渋の決断だった。京博ナビゲーターは、「来館者に文化財の魅力を伝える」という当初の目的を超え、博物館と来館者の橋渡し役として、気づけば大きな存在

になっていたと感じている。私たちに来館者の生の声を届けてくれるだけでなく、当館のヘビーユーザーとしてのナビゲーター自身の言葉から、気づかされることも数多くあった。

海外から来て熱心に質問する人がいること、毎日のように通う常連さんがいること、目が見えない人もミュージアム・カートを楽しんでもらえたこと。それらは来館者数をカウントするだけでは決して分からないし、ポジティブな意見が反映されづらいアンケート用紙からも得難い情報だ。そうした嬉しいエピソードを知ることが出来たのも、いつもナビゲーターを通じてだった。

教育室では現在、印刷物やウェブなど、人同士の接触のない方法で展示の魅力を伝えようと四苦八苦しているが、この先の展示スケジュールを眺めながら、「ナビさんがいたらこんなことができたのに」といついつい考えてしまう。再びナビゲーターと一緒に、さわったり、近くで話したりできる喜びを噛みしめながら、活動ができる日が来ることを祈っている。



ミュージアム・カートで活動する京博ナビゲーター

## 【特別展「皇室の名宝」観覧券について】

本展は、新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、オンラインでの事前予約制(日時指定券)を導入します。ご来館前に公式サイトから「日時指定券+観覧セット券」をご購入ください。事前予約は、前期分9月25日から、後期分10月20日から開始する予定です。皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

<観覧料> 一般1,800円 大学生1,200円 高校生700円

\*中学生以下、障害者の方とその介護者1名などの無料対象の方も、人数分の日時指定券の予約が必要です。入館の際に学生証、障害者手帳などをご提示ください。

\*キャンパスメンバーズ(含教職員)は、「日時指定券+キャンパスメンバーズ観覧セット券」をご購入ください。入館の際に、学生証または教職員証をご提示ください。

\*オンライン予約のご利用が難しい方のため、当日券を若干数をご用意しております。ただし、当日分がなくなり次第、終了となります。

\*前売券・団体券はありません。

\*詳細は展覧会公式サイトをご覧ください。https://meiho2020.jp

## 【ご来館くださる皆様へのお願い】

当館では、新型コロナウイルスの感染拡大予防のための取り組みを行っております。安心して博物館をお楽しみいただける環境維持のため、マスクの着用、検温など、皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 講座・イベント

### 《特別展「皇室の名宝」記念講演会》

10月10日(土)「宮廷と日本文化—雅な文化、その継承のこころ」

宮内庁三の丸尚蔵館首席研究官 太田 彩氏

10月17日(土)「皇室に伝わった絵巻の至宝—春日権現験記絵を中心に—」

京都国立博物館研究員 井並林太郎

10月24日(土)「皇室を彩る絵画—旧桂宮家伝来品を中心に—」

京都国立博物館主任研究員 福土雄也

10月31日(土)【古典の日記念】

「宮内庁三の丸尚蔵館所蔵の書跡名品とその伝来—“禁裏御物”と諸家献上—」

宮内庁三の丸尚蔵館主任研究官 高梨真行氏

11月7日(土)「伏見天皇と「屏風土代」—天皇の書風形成—」

京都国立博物館美術室長/列品管理室長 羽田 聡

11月14日(土)「御所をめぐる色とかたち」

京都国立博物館工芸室長/企画室長 山川 暁

\*平成知新館 講堂にて13時30分～15時に開催。定員100名(予定。変更する場合があります)。聴講無料(ただし、講演会当日の聴講券付き日時指定券が必要)。

### 《特別展「皇室の名宝」キャンパスメンバーズ講演会》

講 師：山川 暁(京都国立博物館工芸室長/企画室長)

日 時：10月23日(金)16時～17時(15時30分開場)

会 場：平成知新館 講堂

\*平成知新館 講堂にて16時～17時に開催。定員100名(予定。変更する場合があります)。聴講無料(ただし、講演会当日の聴講券付き日時指定券が必要)。

### 【各講演会参加方法】

オンライン事前予約にて「聴講券付き日時指定券+観覧セット券」をご購入、または「聴講券付き日時指定券」をご予約ください。

\*オンライン予約のご利用が難しい方のため、当日券を若干数をご用意しております。ただし、当日分がなくなり次第、終了となります。

\*詳細は展覧会公式サイトをご覧ください。

## これからの展覧会

### ◆ 仏教美術研究上野記念財団設立50周年記念 特別企画

新聞人のまなざし—上野有竹と日中書画の名品—

2021年2月2日(火)～3月7日(日)

### ◆ 日本書紀成立1300年記念 特集展示 国宝「日本書紀」と東アジアの古典籍

2021年2月4日(木)～2月28日(日)

### ◆ 特集展示 雛まつりと人形

2021年2月9日(火)～3月7日(日)

### ◆ 凝然国師没後700年 特別展 鑑真和上と戒律のあゆみ

2021年3月27日(土)～5月16日(日)

新型コロナウイルス感染症の感染予防、拡大防止のため、展覧会やイベントの中止や延期、会期や展示期間の変更などを行う場合がありますので、最新情報については、当館ウェブサイト等をご確認くださいませよう願いたします。

## ◆ 部分開館および庭園のみ開館の予定 ◆

特別展の前後を含めた期間は、展示作業等のため、名品ギャラリーを休止しております。ご来館の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

庭園のみ開館期間：9月15日(火)～10月8日(木)

11月25日(水)～12月18日(金)

## ご利用案内

【開館時間】<9月15日～10月8日> 9:30～17:00

<10月10日～11月23日> 9:30～18:00

<11月25日～12月27日> 9:30～17:00

\*入館は各開館の30分前まで

\*夜間開館は実施しません。

【観覧料】【特別展】<10月10日～11月23日>

一般1800円、大学生1200円、高校生700円

\*中学生以下、障害者とその介護者1名は無料(要証明)

\*前売券・団体券はありません。

\*左記をあわせてご覧ください。

【名品ギャラリー】<12月19日～3月7日>

一般700円、大学生350円

\*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上、障害者とその介護者1名は無料(要証明)

\*キャンパスメンバーズ(含教職員)は学生証または教職員証をご提示いただくと、無料となります。

\*有料(一般のみ)にてご入館の方には、庭園ガイド冊子がございます。

【庭園のみ開館期間】<9月15日～10月8日>

<11月25日～12月18日>

一般300円、大学生150円

\*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上、障害者とその介護者1名は無料(要証明)

\*キャンパスメンバーズ(含教職員)は学生証または教職員証をご提示いただくと、無料となります。

\*有料(一般のみ)にてご入館の方には、庭園ガイド冊子がございます。

【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館)

10月9日、12月28日～2021年1月1日

## アクセス

JR=京都駅下車、市バスD2のりばより206・208号系統、D1のりばより100号系統にて博物館・三十三間堂前下車すぐ  
プリンセスラインバス京都駅八条口のりばより京都女子大学前行にて東山七条下車、徒歩1分

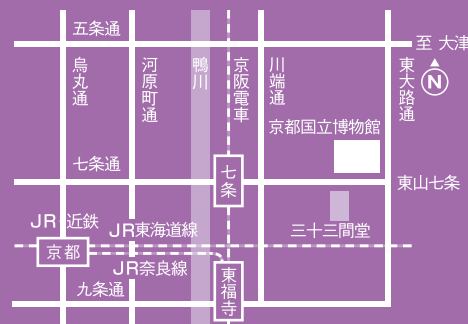
近鉄電車=丹波橋駅下車、京阪電車丹波橋駅から出町柳方面行にて七条駅下車、東へ徒歩7分

京阪電車=七条駅下車、東へ徒歩7分

阪急電車=京都河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行きにて七条駅下車、東へ徒歩7分

駐車場は有料となっております。ご来館の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

\*「博物館だより」を郵送ご希望の方は、返信用封筒(角2封筒は120円、長3封筒は94円)切手貼付、宛名明記)を同封して、当館企画室までお申し込みください。



〒605-0931 京都市東山区茶屋町527

TEL. 075-525-2473 (テレホンサービス)

ホームページ <https://www.kyohaku.go.jp/>

発行日 2020年10月1日 デザイン 谷なつ子

編集・発行 京都国立博物館 印刷 岡村印刷工業株式会社

京都国立博物館  
KYOTO NATIONAL MUSEUM

